

第 122 回 ME 勉強会プログラム

日時:2011 年 5 月 17 日(火) 18:30~21:00 頃まで

場所:佐倉 1F ロビー

18:30~19:10

●特別セッション

・「2011 年夏計画停電対策 誠仁会の対応」 内野順司

19:10~19:25

●ルーチン 司会 亀山直也

1.「2010 年インシデント(1 号用紙)集計報告」 丸 博光

19:25~20:15

●研究

1.「患者監視装置内配管の変色要因の検討」 黒川俊輔

2.「血清K変動についての検討」(第1報) 羽賀浩史

第 21 回日本臨床工学会予行

3.「血液浄化専門施設における血液浄化専門臨床工学技士の役割」土屋正二

4.「透析施設における透析装置の転倒対策」 武田稔男

20:15~20:30

●新人自己紹介

以上

■発表 7 分、質疑 5 分です。時間厳守

■司会は前回の高得点者より選出します。

■各院の学術担当へ相談のこと

■研究は共同演者(学術担当以外で 1 名)を ME 部内から選ぶこと(無しも可)

■演題はルーチン・連絡、研究セッションに分けます。

ルーチンは抄録無しでも可、研究は 400 字以内の抄録が必要

本院 21 名、佐倉 9 名、成田 9 名、香取 3 名 計 42 名

第 123 回 ME 勉強会プログラム

日時:2011 年6月7日(火) 18:30~22:00 頃まで

場所:佐倉 1F ロビー

JSDT 予行 司会 内野順司

演題番号	演者名	演題名
(1) O-0216	石丸 昌志	CSEM II の考案
(2) O-0337	山本 淳	ニプロ透析用監視装置 SPM-1 (SPM)の自動サポート機能の評価
(3) O-0406	羽賀 浩史	カーポスターP 使用による大動脈弓部石灰化面積(AACA)についての検討
(4) O-0662	黒川 俊輔	多人数用無酢酸透析液カーポスターP 導入 1.5 年間の体重と CTR の変化 ~日機装 CDDS を用いた検討~
(5) O-0663	土屋 正二	多人数用無酢酸透析液カーポスターP 導入後 1.5 年間の体重と CTR の変化 ~ニプロ CDDS を用いた検討~
(6) O-0764	平山 香織	維持透析患者の QOL の評価-SF-36 を用いた 4 年間の検討-
(7) O-0667	平山 香織	多人数用無酢酸透析液カーポスター(CP)への変更による維持透析患者の QOL の評価 -SF-36 を用いた 4 年間の検討-
(8) P-2-167	鈴木 一哉	無酢酸透析液カーポスターP 導入後 1.5 年の電解質データの変化
(9) P-2-168	倉持 貴	多人数用無酢酸透析液カーポスターP 導入 1.5 年間の栄養関連データの変化 ~日機装 CDDS を用いた検討~
(10) P-2-169	猪股 俊悟	多人数用無酢酸透析液カーポスターP 導入 1.5 年間の体重と CTR の変化 ~日機装 CDDS を用いた検討~
(11) P-2-171	青木 芳隆	多人数用無酢酸透析液カーポスターP 導入後 1.5 年間の CKD-MBD 関連因子の変化と対応 ~ニプロ CDDS を用いた検討~
(12) P-2-172	青野 雅司	多人数用無酢酸透析液カーポスターP 導入 1.5 年間の CKD-MBD 関連因子の変化と対応 ~日機装 CDDS を用いた検討~
(13) P-2-174	土屋 正二	多人数用無酢酸透析液カーポスターP 導入後 1.5 年間のクレアチニン産生速度(%CGR)の変化 ~ニプロ CDDS を用いた検討~
(14) P-2-175	亀山 直也	多人数用無酢酸透析液カーポスターP 導入 1.5 年間の栄養関連データの変化 ~ニプロ CDDS を用いた検討~
(15) P-2-176	渡邊 徹義	多人数用無酢酸透析液カーポスターP 導入 1.5 年間の栄養関連データの変化 ~日機装 CDDS を用いた検討~

- (16) P-2-178 長谷川 裕 多人数用無酢酸透析液カーボスターP の透析液濃度管理の検討 ～ニプロ CDDS を用いた検討～
- (17) P-3-160 石丸 昌志 多人数用無酢酸透析液カーボスターP の Ca 出納の検討
- (18) P-3-161 角田 真帆 多人数用無酢酸透析液カーボスターP 導入 1.5 年間の CKD-MBD 関連因子の変化と対応(1) ～日機装 CDDS を用いた検討～
- (19) P-3-162 角田 真帆 多人数用無酢酸透析液カーボスターP 導入 1.5 年間の CKD-MBD 関連因子の変化と対応(2) ～日機装 CDDS を用いた検討～
- (20) P-3-163 鈴木 敏弘 多人数用無酢酸透析液カーボスターP 導入 1 年間の CKD-MBD 関連因子の変化と対応 ～東レ CDDS を用いた検討～
- (21) P-3-164 鈴木 敏弘 多人数用無酢酸透析液カーボスターP 導入 1 年間の栄養関連データの変化 ～東レ CDDS を用いた検討～
- (22) P-3-167 高岡 雄太 透析液作製濃度の推移から見た CDDS 管理の検討 ～多人数用無酢酸透析液カーボスターP での検討～
- (23) P-3-168 猪又 扶美 無酢酸透析液カーボスターP の骨代謝に対する影響の検討
- (24) P-3-169 猪又 扶美 低回転系骨に対する無酢酸透析液カーボスターP の可能性の検討 低 intact-PTH 症例(i-PTH<60pg/mL)への応用(第 2 報)
- (25) P-5-142 井上 学 脱血検知用ピロー有用性の検討

以上

■発表時間 口演 7 分、ポスター 4 分。時間厳守

■司会は前回の高得点者より選出します。

第 124 回 ME 勉強会延期のお知らせ

ME 部員、関係各位 本日の勉強会は天候不良により 21 日(木)に延期します。関係各位に連絡をお願い致します。

日時:2011 年 7 月 21 日(火) 18:30~21:00 頃まで

場所:佐倉 1F ロビー(今回で最後になります。次回より本院多目的ラウンジ 5F で開催予定)

18:30~19:15

●メーカープレゼン

・「ミルセラの紹介」中外製薬株式会社 久保田氏

19:15~19:50

●ルーチンセッション 司会 鈴木敏弘

1.「止血後の患者手指に付着した血液から感染予防を考える」~ルミノール反応を用いて~ 香取看護科 菅澤 宏子

2.「体重計点検方法の検討」榎 邦明、山本 淳

3.「カーボスターP の B 剤代替品使用 Lot による供給能力の変化」丸 博光

19:50~20:00

●研究セッション

1.「透析におけるヘパリン起因性血小板減少症(透析 HIT)の現状と今後の対応」
山本 淳

20:00~21:00

●連絡・打ち合わせセッション

1.「本院移転計画の説明と役割分担」黒川俊輔

以上

■発表 7 分、質疑 5 分です。時間厳守

■司会は前回の高得点者より選出します。

■各院の学術担当へ相談のこと

■研究は共同演者(学術担当以外で 1 名)を ME 部内から選ぶこと(無しも可)

■演題はルーチン・連絡、研究セッションに分けます。

ルーチンは抄録無しでも可、研究は 400 字以内の抄録が必要

参加:本院 20 名、佐倉 9 名、香取 3 名、成田 9 名、NS 7 名 計 48 名

第 125 回 ME 勉強会プログラム

日時:2011 年 9 月 20 日(火) 18:30~21:00 頃まで

場所:本院多目的ラウンジ

18:30~19:30

- メーカープレゼン1 司会:石丸昌志
- ・新規ダイアライザの仕様と性能の特長
- 1. アサヒ化成クラレメディカル
- 2. TORAY メディカル

19:30~20:00

- メーカープレゼン2 司会:山本 淳
- 1. 「テクノメディカ社製血液ガス分析装置について」 GASTAT

20:00~21:00

- 研究 司会:亀山直也
 - 1. 「テクノメディカ社製全自動pH/血液ガス分析装置 GASTAT(GASTAT)の性能評価」 倉持 貴、山本 淳
 - 2. 「機械室内の湿度管理方法の検討」 ~業務用除湿機を使用して~ 大釜 健広
 - 3. 「PES-21D の残血評価」 猪又達也
- 第 2 回関東臨床工学会予行
- 4. 脱血検知用ピロー有用性の検討」 井上 学

以上

-
- 発表 7 分、質疑 5 分です。時間厳守
 - 司会は前回の高得点者より選出します。
 - 各院の学術担当へ相談のこと
 - 研究は共同演者(学術担当以外で 1 名)を ME 部内から選ぶこと(無しも可)
 - 演題はルーチン・連絡、研究セッションに分けます。
- ルーチンは抄録無しでも可、研究は 400 字以内の抄録が必要
-

参加:本院 18 名、佐倉 9 名、香取 3 名、成田 9 名 計 39 名

勉強会の前に16:00~17:00

来年度学会(臨床工学技会、JSDT等)のため data 集計対策会議を行います。

担当者、時期希望者は ME 室に参集して下さい。

第 126 回 ME 勉強会プログラム

日時:2011 年 10 月 25 日(火) 18:45~20:45 頃まで

場所:本院5F多目的ラウンジ

プログラム

●講演 18:45~19:15 司会:石丸昌志

「バーコードを利用した医療機器管理の実際」(仮)

医療法人社団 誠馨会 千葉中央メディカルセンター

臨床工学課 配野 治 先生

19:15~19:55

●ルーチンセッション 司会:井上 学

1.「東京電子専門学校臨床工学科 在校生向け基礎セミナー」 松戸侑美

2.「新本院のタイムスケジュールと問題点」 南智恵美

3.「NPS-50AH 改良報告」石丸昌志

19:55~20:45

●研究 司会:大釜健広

1.「ポータブル血液ガス測定装置 ISTAT1 と epoc の性能評価」猪又達也、鈴木一哉

2.「無酢酸透析液(CARBOSTER)での電解質出納に関する検討」-透析前後値で出納を決定して良いのか?- 内野順司

関東臨床工学会(予行)

3.「ニプロ社製多人数用透析液供給システム使用による透析液濃度変動についての検討」羽賀浩史

4.「脱血検知用ピローの有用性の検討」井上 学(2回目:発表 point 無し)

以上

■発表 7 分、質疑 5 分です。時間厳守

■司会は前回の高得点者より選出します。

■各院の学術担当へ相談のこと

■研究は共同演者(学術担当以外で 1 名)を ME 部内から選ぶこと(無しも可)

■演題はルーチン・連絡、研究セッションに分けます。

ルーチンは抄録無しでも可、研究は 400 字以内の抄録が必要

参加:本院 18 名、佐倉 7 名、香取 3 名、成田 9 名、その他 3 名 計 40 名

第 127 回 ME 勉強会プログラム

日時:2011 年 11 月 22 日(火) 18:30~19:55

場所:本院多目的ラウンジ

18:30~19:30

●教育講演 司会 内野順司

・「カーポスター透析における電解質出納を再考する」 正井基之 院長

19:30~19:55

●研究 司会 亀山直也

1.「災害への備えについて」 柴生田 啓志

千葉県透析研究会予行

2.「カーポスターP・使用時に於ける機械室内の適切な湿度の検討」~第2報~
大釜 健広

以上

今回は早く終わりそうなので食事は必要ないと思います。

■発表 7 分、質疑 5 分です。時間厳守

■司会は前回の高得点者より選出します。

■各院の学術担当へ相談のこと

■研究は共同演者(学術担当以外で 1 名)を ME 部内から選ぶこと(無しも可)

■演題はルーチン・連絡、研究セッションに分けます。

ルーチンは抄録無しでも可、研究は 400 字以内の抄録が必要

参加:本院 17 名、佐倉 9 名、香取 4 名、成田 10 名、計40名

第 129 回 ME 勉強会プログラム

日時:2012 年 2 月 21 日(火) 18:30~19:55

場所:本院多目的ラウンジ

18:30~19:30 司会:柴生田 啓志

●ルーチンセッション

- 1.「2011 年度本院 1 号用紙集計報告」 竹澤和也
- 2.「2011 年みはま成田クリニック 1 号用紙集計報告」 猪股 俊悟
- 3.『2011 年度みはま佐倉分院における 1 号用の解析』 石渡千暁
- 4.「2011 年 1 号用紙集計・分析報告」 丸 博光

19:30~20:40

●研究 司会:大釜 健広

HPM 研究会予行

- 1.「V 型ダイアライザ APS-21EX と PES-S21D α の臨床性能評価」 羽賀浩史
千葉県臨床工学技士会研究会発表会予行
- 2.「新規ポリマーを使用した東レ社製新型ダイアライザ NV-X の貧血改善効果」 井
上学
- 3.「長期(23 年間)の β -Microglobulin 値の推移とダイアライザ膜素材の関係」 手塚
千絵
- 4.「成田分院における β -MG 集計結果報告」 榎 邦明
- 5.『2011 年みはま佐倉分院における β -MG 集計結果報告』 松戸伶美
- 6.「香取における β -MG の経年変化と関連因子の検討」 柴生田 啓志

以上

■発表 7 分、質疑 5 分です。時間厳守

■司会は前回の高得点者より選出します。

■各院の学術担当へ相談のこと

■研究は共同演者(学術担当以外で 1 名)を ME 部内から選ぶこと(無しも可)

■演題はルーチン・連絡、研究セッションに分けます。

ルーチンは抄録無しでも可、研究は 400 字以内の抄録が必要

参加:本院 17 名、佐倉 9 名、香取 4 名、成田 10 名、計 40 名 +4 名

1:7:00 より医療機器安全管理委員会、透析機器安全管理委員会を開催します。

委員は 3F 会議室に集まって下さい。

第 130 回 ME 勉強会のプログラム

日時:2012 年 3 月 27 日(火) 18:45~20:30 頃まで

場所:本院多目的ラウンジ

●ルーチンセッション

パネルディスカッション

司会:内野順司

課題:各院で以下の検討を行う。

1. 透析液濃度、温度の立ち上がり(安定するまでの時間の検討)について、機器別に
2. 動作開始(朝)、使用せず午後または夜~使用する場合の時間、機器別に
3. 現在の QD 種類(パターン)の分布
4. 現在のルーチンから見て透析液の節約方法の考案(私案で可)

発言

1. 「当院における透析液使用量の現状と今後の対応について」 柴生田 啓志
2. 「成田第 1 透析室における透析液使用量の検討」 猪股俊悟、佐々木 英
3. 「成田第 2 透析室における透析液使用量の検討」高岡雄太、坂口和彦
4. 「佐倉分院における課題演題の検討報告」 小川 哲男
5. 演題名不適切のため当日報告 猪又達也、石丸昌志

各 12 分

Discussion time 30 分

以上

■発表 12 分、質疑 3 分です。時間厳守

■司会は前回の高得点者より選出します。

■各院の学術担当へ相談のこと

■研究は共同演者(学術担当以外で 1 名)を ME 部内から選ぶこと(無しも可)

■演題はルーチン・連絡、研究セッションに分けます。

ルーチンは抄録無しでも可、研究は 400 字以内の抄録が必要

参加:本院:15 名、佐倉 9 名、成田 10 名、香取 4 名、計 38 名

1:7:00 より医療機器安全管理委員会、透析機器安全管理委員会を開催します。

委員は 3F 会議室に集まって下さい。